

リチウムイオン電池は発火する可能性のある危険物です！

皆さんはリチウムイオン電池が取扱いを間違えると発火する可能性があることをご存知ですか？

リチウムイオン電池はエネルギー密度が高く、高効率なのでコンパクトに大容量の電力を貯えられます。一方で、消防法で危険物に指定されているように、酸素に反応して燃える性質を持っているため、安全対策はされているものの取り扱いに注意する必要があります。

火元は電子機器

充電式の機器は、力が加わると激しく発熱・発火する危険があります

ごみ処理中の発火トラブル急増中!!

ごみ収集車 リサイクル工場

イラスト提供
公益財団法人日本容器包装リサイクル協会様

日常生活に欠かせない充電式電子機器の多くはリチウムイオン電池が内蔵されています。

リチウムイオン電池には燃えやすい液体が入っており強い衝撃や圧力が加わったときに発火につながりやすいケースもあります。

粗大ごみ処理場の破砕機はリングハンマーを高速回転させ、製品をバラバラに砕く装置であり、破砕機内にリチウムイオン電池が投入されることで出火が起こる可能性は極めて高いと思われます。

もし、火災が起これば機器が損傷を受け、ごみ処理作業ができなくなり、場合によっては、復旧に数か月を費やすこともあります。それにより、一般家庭の不燃ごみ収集を持ち込みできなくなり、皆さんのごみ処理が停滞します。

多くの充電式の家電製品には、
リチウムイオン電池が入っています。
過度な力が加わると発熱・発火する危険があります。

モバイルバッテリー スマートフォン 電動歯ブラシ ハンディクリーナー 電動シェーバー

廃棄する時は、お住まいの市町村の分別排出ルールに従ってください。

不燃ごみの中にリチウムイオン電池を入れたまま捨てることは絶対にしないでください。

各市のごみ分別ルールがありますので、それに則って分別して排出をお願いします。